

ふりがな	ますや とおる																			
氏名	升谷 亨																			
区分	アドバイザー	コンサルタント																		
専門分野又は得意とする分野 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域住民、産業関係者、各種地域組織の方々との協議会・ワークショップによる地域関係者主導型の地域づくり・コミュニティづくりの推進 2. 行政協議、企業誘致、産学官交流等関係機関調整 3. 地場産業、地域人材、景観、歴史・文化等の地域資源の調査・発掘・活用・商品化計画 4. 経済効果分析、流動量解析、商圈分析・売上予想等数量解析 5. 都市・地域の構想・計画づくり、土地利用計画 6. 地場産業、農山漁村、商店街等の活性化支援 7. 商業関係の施設開発コーディネイト及び運営管理実務 																				
主な実績 <table border="0"> <thead> <tr> <th>(活動時期)</th> <th>(活動実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 2 年～ 平成 5 年</td> <td>宇都宮市曲師町 地域商業活性化構想</td> </tr> <tr> <td>平成 7 年～ 平成 9 年</td> <td>宮城県鹿島台町 地域商業活性化構想</td> </tr> <tr> <td>平成 5 年～ 平成 9 年</td> <td>中山間地域活性化構想 (福島県都路村、山梨県三富村、兵庫県黒田庄町、他)</td> </tr> <tr> <td>平成 7 年～ 平成 8 年</td> <td>新潟県板倉町 電源地域活性化構想</td> </tr> <tr> <td>平成 9 年～ 平成 10 年</td> <td>滋賀県近江八幡市 まちづくり事業化構想</td> </tr> <tr> <td>平成 10 年～ 平成 11 年</td> <td>愛知県西尾市 まちづくり事業化構想</td> </tr> <tr> <td>平成 12 年～ 平成 15 年</td> <td>名古屋市千種区 星が丘テラス開発計画</td> </tr> <tr> <td>平成 15 年～ 平成 26 年</td> <td>名古屋市千種区 星が丘テラス運営支援</td> </tr> </tbody> </table>			(活動時期)	(活動実績)	平成 2 年～ 平成 5 年	宇都宮市曲師町 地域商業活性化構想	平成 7 年～ 平成 9 年	宮城県鹿島台町 地域商業活性化構想	平成 5 年～ 平成 9 年	中山間地域活性化構想 (福島県都路村、山梨県三富村、兵庫県黒田庄町、他)	平成 7 年～ 平成 8 年	新潟県板倉町 電源地域活性化構想	平成 9 年～ 平成 10 年	滋賀県近江八幡市 まちづくり事業化構想	平成 10 年～ 平成 11 年	愛知県西尾市 まちづくり事業化構想	平成 12 年～ 平成 15 年	名古屋市千種区 星が丘テラス開発計画	平成 15 年～ 平成 26 年	名古屋市千種区 星が丘テラス運営支援
(活動時期)	(活動実績)																			
平成 2 年～ 平成 5 年	宇都宮市曲師町 地域商業活性化構想																			
平成 7 年～ 平成 9 年	宮城県鹿島台町 地域商業活性化構想																			
平成 5 年～ 平成 9 年	中山間地域活性化構想 (福島県都路村、山梨県三富村、兵庫県黒田庄町、他)																			
平成 7 年～ 平成 8 年	新潟県板倉町 電源地域活性化構想																			
平成 9 年～ 平成 10 年	滋賀県近江八幡市 まちづくり事業化構想																			
平成 10 年～ 平成 11 年	愛知県西尾市 まちづくり事業化構想																			
平成 12 年～ 平成 15 年	名古屋市千種区 星が丘テラス開発計画																			
平成 15 年～ 平成 26 年	名古屋市千種区 星が丘テラス運営支援																			
まちづくりに関する活動履歴 <ul style="list-style-type: none"> ■中山間地域振興対策や電源地域対策(中山間地域の活性化に向けた構想づくり) ■商店街活性化の構想づくり(商業協同組合員との全国の先進事例の調査・研究) ■地域住宅【HOPE】計画(地域の歴史、伝統、風物、産業を活かした住宅環境、景観整備のルールづくり) ■全国の市町村において、地域資源としての港湾環境、地場産業、都市景観・街並み、農村環境を活かした地域づくり、将来の地域を牽引する新しい産業構築、人材育成を念頭においたコンベンション都市、学園都市、健康長寿等まちづくりを地域の産業関係者、地域住民との協議を重ねて構想・計画づくり ■名古屋市千種区の商業施設開発支援(構想・計画策定から事業化計画、行政協議・対応、関係機関・地元調整、MD 計画、テナント誘致、建設管理、運営管理計画づくり等、開発プロセス支援) ■名古屋市千種区の商業施設運営支援(オープン後の施設運営管理の方針設定・市場分析、テナント再編計画、テナント誘致・契約実務、担当者教育・サポート等の現場支援) 																				

まちづくりについて考えること

「まちづくり」とは、そこに暮らし、働き、学ぶ人々が、自分の関わるコミュニティに対して、誇り、主体性、将来性を見出すことだと考えます。

それは脈々と伝えられた歴史や伝統の中のものであり、他方、時代や環境に合わせて自ら創り出すものであり、日々更新していくものでもあるものです。

コミュニティはその生業や環境等から2つとない、個性をもっています。まち固有の特色、資源を活かして、人、もの、環境に人々のたゆまぬ行為、知恵、思想を総動員して、風土、伝統、気質にまで昇華し、引き継がれるものと考えます。

まちづくりを進めるには5つの基本的テーマがあります。

「問題意識」、「独自性発見」、「発展的展望」、「主体的活動」、「継続させる意識」

利点・欠点を踏まえ改善、改革の意識がまちづくりのエネルギーになります。（「問題意識」）

地元を見つめ、より善きもの、改善すべきものを見据え、コミュニティの特性を見出します。（「独自性発見」）

さらに、よりよき将来像を描く創造性も必要です。（「発展的展望」）

何より重要なことは、それを地域の人々が自ら主体的に関わり、行動していくところに価値があります。（「主体的活動」）

そして、それを仲間や子供達、後継者と共に継続させていく意識を醸成していくことが重要です。（「継続させる意識」）

地域の人々の知恵と努力の結晶がまちづくりだと思います。

まちづくりの活動は一般に①地域の特性、資源、資質の把握→②課題、方向性の共有化→③具体的行動→④振り返り・検証のプロセスをたどります。

地域の人々は多様な方々で構成されています。必ずしも同じ観点、同じ価値観を持っているとは限りません。むしろ違って当たり前。共通の課題、特性を見出すことすら難しいかもしれません。ましてその解決策となれば百花繚乱。あちこちの方法が出され、收拾がつかなくなるのも希ではありません。

そうした中で重要なことは「話し合い」です。十分な議論を重ねて、適切な評価軸を探しながら收拾していきます。最適解が得られずとも皆さんが相手の意見を尊重しながら、合意していくプロセスが重要な役割を担います。多様性を容認するところに共通性が見出されます。

まさに人との関わりの中からまちづくりの土壌が育くまれるのです。

人との関わりは簡単ではありませんが、努力を積み重ねる中に、共感、協働意識が生まれ、まちづくりの推進力につなげていくことが重要だと思います。

子供時代に住んだ街、学生時代をすごした街、社会人としてスタートした街、自分の家族をもった街、人生を振り返りながら暮らす街、それぞれのライフステージで様々な自分の街との関わり方があります。

年代や環境によって感じ方も異なるでしょう。

暮らした街に愛着や誇り、懐かしさ、親しみを感じたり、街の匂いや雰囲気にも癒されることもあるでしょう。

生活の利便性や安全性、経済的発展、世の中の評判等も街の価値を測る指標のひとつだとは思いますが、そこに住み、すごす人々が感じる、満足感、充実感、親近感も大切な街づくりの指標だと思います。

家族がいて、仲間がいて、助け合う人々がいて、人と人の関わりの中に、生の喜びと心の豊かさが感じられる街にしていきたいものです。